

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 01020080

政策目標	5	ささえあい・雄武～協働によるまちづくりの推進	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	24	効果的・効率的な行政経営	事業優先度	A		
単位施策	1	計画行政の推進	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	雄武町基本調査実施事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	1 総務課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	調査地区数			#N/A		
事業目標	55地区		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
住民参加 住民協働	有	調査協力	関係例規・法令名	無		
			関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計画 内 容	雄武町内の人口や世帯、産業構造等の実態を明らかにし、居住実態に即したデータを様々な角度から分析することにより、雄武町の各種行政施策の基礎資料として提供する。	雄武町基本調査実施 (町内60地区) 調査員報酬、印刷製本、消耗品	雄武町基本調査実施 (町内60地区) 調査員報酬、印刷製本、消耗品		雄武町基本調査実施 (町内60地区) 調査員報酬、印刷製本、消耗品	雄武町基本調査実施 (町内55地区) 調査員報酬、印刷製本、消耗品
	事業費(千円)	8,000	2,000	2,000	0	2,000
計画 事業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	8,000	2,000	2,000		2,000	
実績 事業 費	事業費(千円)	5,305	1,766	1,823	0	1,716
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	5,305	1,766	1,823		1,716	
関連 事項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	【評価・実績】		雄武町基本調査実施 (町内60地区) 調査員報酬、印刷製本、消耗品	雄武町基本調査実施 (町内60地区) 調査員報酬、印刷製本、消耗品	雄武町基本調査実施 (町内60地区) 調査員報酬、印刷製本、消耗品	雄武町基本調査実施 (町内60地区) 調査員報酬、印刷製本、消耗品
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	60地区	60地区	60地区	55地区
	年度達成率	88%	91%	#DIV/0!	86%	0%
第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	22%	45%	45%	66%	66%
	備考欄					

事業名	雄武町基本調査実施事業	評価者 管理職 職氏名	総務課長	佐竹 邦夫
		評価者 作成者 職氏名	情報統計係長	内宮 真希

様式1
平成28年度実施
平成29年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	各種行政施策	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	60調査区(全町)、雄武町基本調査結果報告書											
【抱える課題やニーズは】	雄武町の基本的情報(人口や産業構造等)の調査	指標(指標計算式/解説)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">目標値及び実績値</th> </tr> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成28年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>60地区</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>60地区</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>		目標値及び実績値		目標年度	平成28年度	目標値	60地区	実績値	60地区	達成度	100.0%
目標値及び実績値														
目標年度	平成28年度													
目標値	60地区													
実績値	60地区													
達成度	100.0%													
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	最新の統計情報を分析し、各種計画等の策定や変更等の基礎資料として活用する。	① 雄武町基本調査(人口、世帯数、年齢、性別、就業状況等)調査区	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成28年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	1式	実績値	1式	達成度	100.0%			
目標年度	平成28年度													
目標値	1式													
実績値	1式													
達成度	100.0%													
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	雄武町の現状を踏まえた将来推計等の分析により、実態に即した計画策定等が図られる。	② 雄武町基本調査結果報告書	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成28年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1式</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0%</td> </tr> </table>	目標年度	平成28年度	目標値	1式	実績値	1式	達成度	100.0%			
目標年度	平成28年度													
目標値	1式													
実績値	1式													
達成度	100.0%													
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	雄武町基本調査実施	町内に居住する全世帯に対し、雄武町統計調査員による調査票配布・回収を行い、人口や世帯、就業状況等の基本的情報の調査を行った。												

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	各種行政施策は、現状を正確に把握し、将来展望に立って行われる必要があり、そのためには実態をあらゆる客観的なデータ(生産人口等の各種人口及び就業状況等)収集は、必要不可欠である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	町内全域を60調査区に分割し調査したことにより、国勢調査結果や前回基本調査等との対比が可能となり、増減率等の推移が明確となった。また、調査結果報告書の作成により各種計画の基礎資料として活用することができる。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	従来から基本調査に従事している雄武町統計調査員に調査を依頼することで、事務の効率化及び迅速化を図るとともに報酬の抑制が図られた。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減 その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	適切な行政施策を講じるためには、現状把握と将来の予測が不可欠であり、町のもっとも基本的な構成要素である人口(居住実態に即したデータ)をさまざまな角度から分析した結果が、行政を適切に進める上でなくてはならない資料となる。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益が一部に偏る その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり全町の調査区について調査を完了し、調査結果の報告書を作成した。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
短期間に社会情勢が大きく変化中、総合計画をはじめとする各種計画の基礎資料として活用するため、国勢調査実施年を除き毎年継続的に実施することが必要である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止